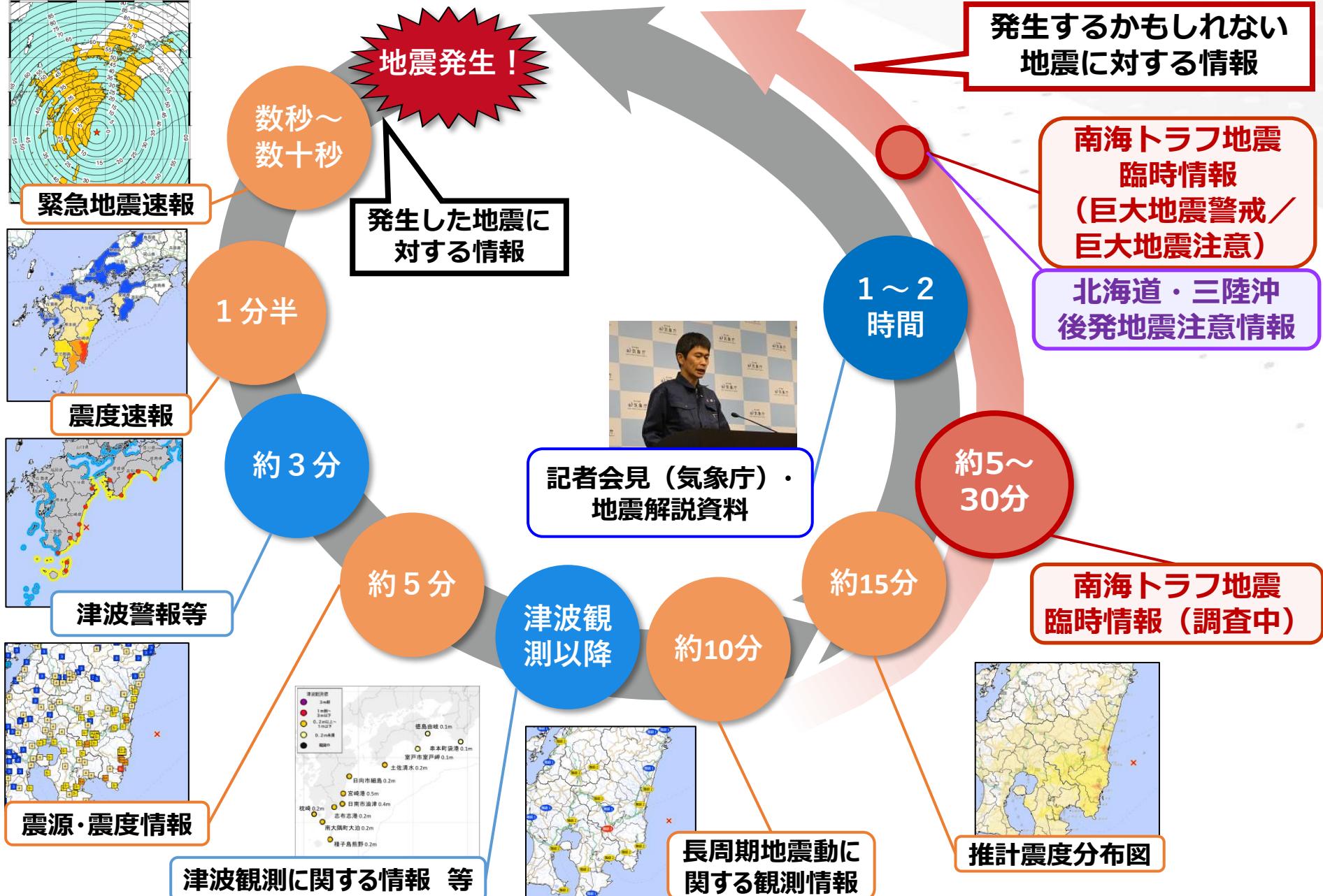


巨大地震に備えた気象庁の取組

加藤 孝志
気象庁地震火山部長

気象庁が発表する情報



緊急地震速報・津波警報等

数秒～
数十秒

緊急地震速報



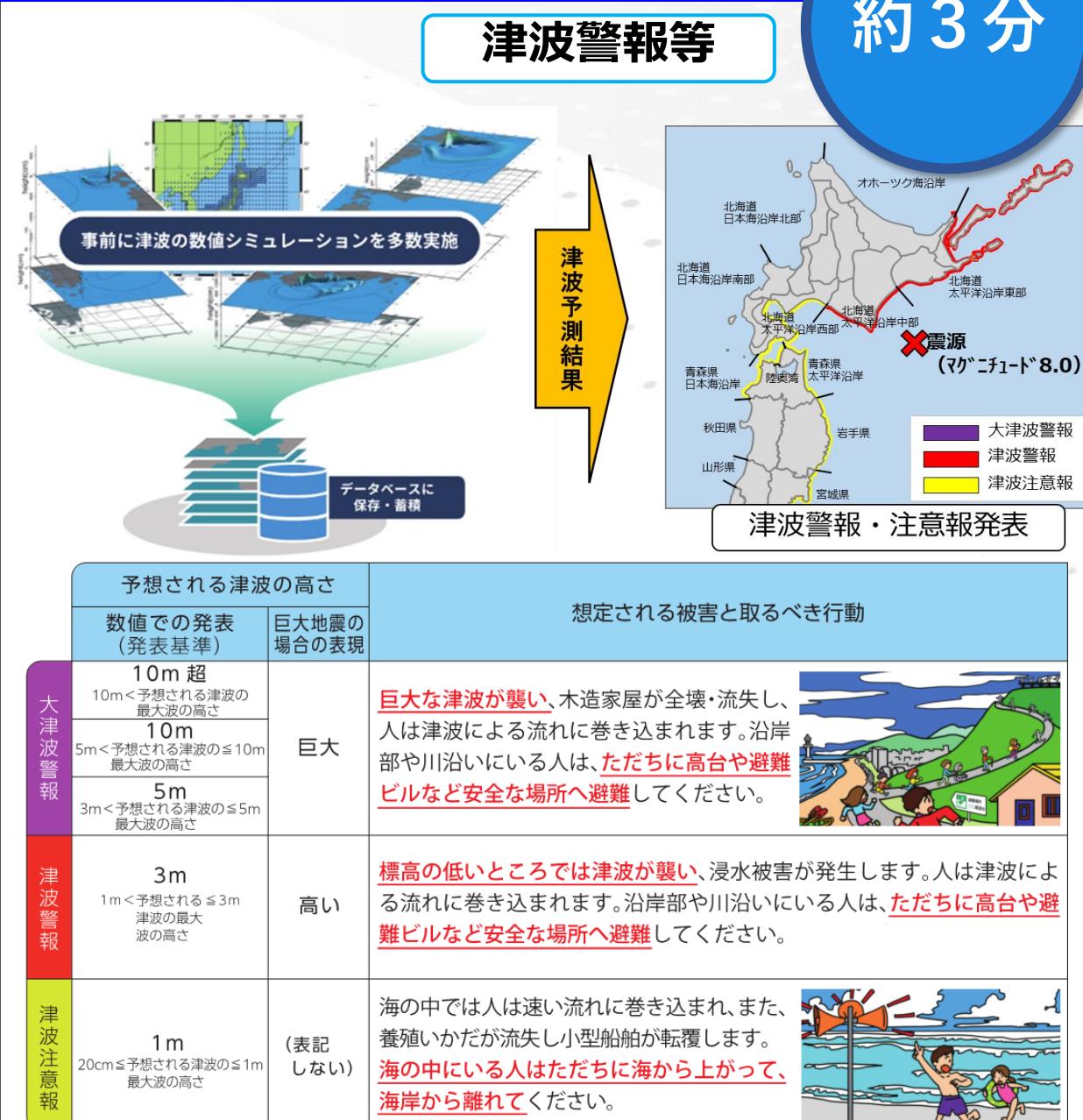
しくみ

種類	どんな時に発表されるの？	情報の取り方例
警報	<ul style="list-style-type: none"> 最大震度5弱以上が予想された場合 (震度4以上が予想される地域に発表) 長周期地震動階級3以上が予想された場合 	 <p>テレビ・ラジオ、携帯電話、防災行政無線</p>
予報	<ul style="list-style-type: none"> 最大震度3以上が予想された場合 長周期地震動階級1以上が予想された場合 マグニチュード3.5以上が予想された場合 	 <p>専用受信端末、スマートフォンアプリ</p>

種類

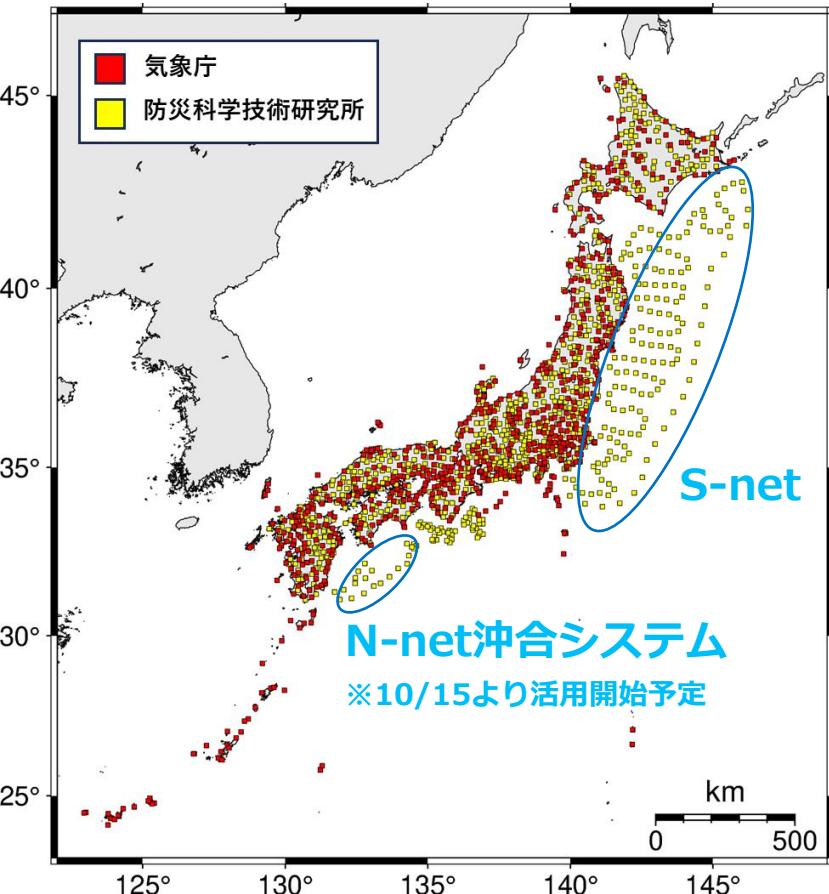
約3分

津波警報等



海底地震津波観測網の活用による情報発表の迅速化効果

- ◆ 気象庁では、S-netやN-netなどのデータも活用し、迅速な情報発表を行っている。
- ◆ 海底地震観測網のデータ活用により、活用前に比べ以下のような迅速化効果がある。



	S-net	N-net沖合システム
緊急地震速報 (警報発表)	最大約30秒	最大約20秒 (※)
津波情報等 (津波の検知)	最大約25分	最大約20分

※10月15日より、緊急地震速報にN-net沖合システムを活用開始予定。

- ◆ N-net沿岸システムのデータについても、データの精査を行っており、今後活用開始予定。

観測網が整備されることで高精度かつ迅速な情報発表を行うことが可能となった

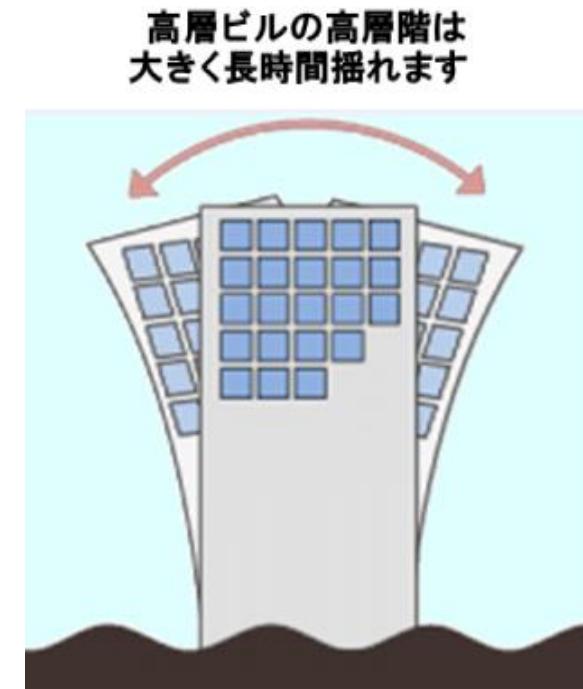
長周期地震動に関する観測情報

長周期地震動は……

- ・規模の大きな地震で発生
- ・遠くまで伝わりやすい
- ・三大都市圏など堆積層の厚い平野で大きく揺れやすい

長周期地震動の影響を受けやすい建築物

- 高層ビル
- 免震建物
- 長大吊橋
- 大型貯蔵タンク
など

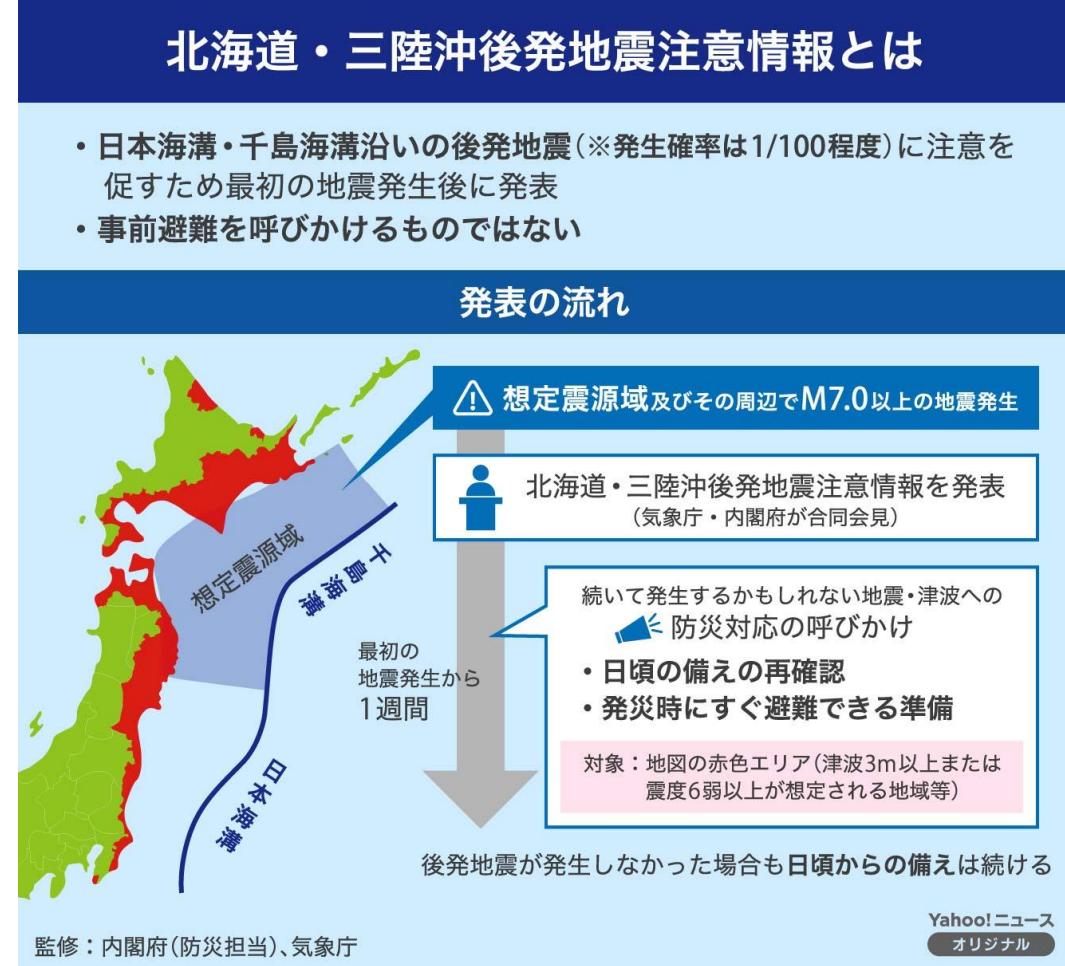


長周期地震動階級



長周期地震動階級 1 以上を観測した場合に観測点で観測した長周期地震動階級などを発表

南海トラフ地震臨時情報、北海道・三陸沖後発地震注意情報



○地震が起きることを「予知」する情報ではなく、大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高くなっていることを伝える情報

○不確実ではあるものの、状況に応じてこの情報を活用して、大規模地震に備えた行動を取ることで被害をできるだけ軽減